

東北関東大震災で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます

東北地方で発生した地震と津波で被災された皆様にお見舞い申し上げますとともに、亡くなられた多くの方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。被災者一人ひとりに届く救援体制の構築と一刻も早い復旧を願ってやみません。

小平市では震度5弱の揺れで、ブロック塀の倒壊や屋根瓦の落下がありました。小・中学校では引き取りや集団下校、保育園・学童クラブでは帰宅困難となった保護者のためにお迎えまでの預かり(宿泊を含む)対応をしました。

被災地ではいまだ行方不明の方も多く復興を語るにはまだ胸が痛む状況ですが、今首都圏にいる私たちに何が出来るかを考えると同時に、地震大国である日本で地域ごとの防災体制を整えておくことが必要だと考えます。

●防災や安全について生活の視点で提案をしてきました

生活者ネットワークでは、阪神・淡路大震災や新潟中越地震を体験した女性の活動から学び防災備品や避難所運営についての提言をしてきました。たとえば、おむつやミルクの備蓄はありますが、生理用品の備蓄は女性だからこそこの視点です。また、長引く避難所生活では若い女性が性暴力を受けたり赤ちゃんの夜泣きに気兼ねしなければならなかった事例から、その後パーティションでの仕切りや別室を設けるなど具体的な対策がとられており、今回の被災地でも活かされることを望みます。

こうしたきめ細かな防災体制を整えるために、地域防災計画や避難所運営マニュアルなど計画づくりの段階から女性の参画をすすめることや実際の避難所運営、地域復興活動に男性とともに女性もリーダーとして位置付けることを政策にしています。

また、倒壊の危険性のあるブロック塀について、子どもの通学路での安全点検や費用助成を活用して生け垣への転換を呼びかけることも提案しました。

●今、私たちにできること

いま現在、首都圏では計画停電の実施予定により混乱もありますが、備えのための買い置きは最低限にとどめ被災地に物資を回すことや節電など、冷静に対応し自分たちにできることに努めたいものです。

そして、原発災害については、最大で緊急の不安となっており、政府、東京電力等の原子力関連機関の迅速で正確な情報提供が、今こそ重要になっています。

私たちは、この最悪の事態に際し、不確かな情報に左右されることなく、慎重に行動すべきと考えます。生活への影響はかなり長期に及ぶことが想定されますが、一人ひとりが生活の仕方を見直すことが求められています。

再生への思いをひとつにして、失われた命や暮らしに哀悼を捧げるとともに、一刻も早い回復、復興をお祈りするものです。

*義援金を受け付けています。被災者へのお見舞いと支援のために多くのツールで、募金を実施しております。

■日本赤十字社

郵便局・ゆうちょ銀行

□座記号番号・・・00140-8-507

□座加入者名・・・日本赤十字社 東北関東大震災義援金

※郵便局窓口での取り扱いの場合、振替手数料は免除されます。

■コンビニ、携帯TEL会社、ほかにポイントカードでも募金ができる
ところがあります。

生活者ネットワーク3つのルール

- 議員は交代制(ローテーション)
- 議員報酬は市民の政治活動資金
- 選挙はカンパとボランティアで

小平・生活者ネットワークニュース

臨時号 2011年3月16日

発行責任者/打木香澄

〒187-0045 小平市学園西町2-15-2 CB 一橋学園

TEL&FAX 042-342-4494

E-mail kodaira@seikatsusha.net HP <http://kodaira.seikatsusha.net/>

